

学校教育向け DX人材育成を支援

人体の動きを最新のデータ処理技術で価値付けるワークショップ

こんな課題はありませんか？

As Is ～現状・課題～

最新のテクノロジーについて学びたい

- 社会で実際に使われているデジタル技術の最新動向を知りたい
- デジタル技術が社会でどのように活かされているか学びたい



将来を担うDX人材を育成したい

- テクノロジーを活かし、社会課題解決に資する事業を創出する人材を育成したい
- 生徒にDXを身近なものとして感じてほしい



To Be ～目指す姿～



生徒

- 企業が取り組んでいるデジタル技術の最新動向を知り、デジタル技術の楽しさを感じる
- 最新のテクノロジーについて学び、具体的な事業アイデアを考える



教員

- 企業のDXの取り組みを感じてもらい、DXへの生徒の興味関心を高める
- 生徒が最新テクノロジーおよびDXを考え、事業化までのプロセスを体験する機会を創出する

富士通グループのご提案する「DX人材育成プログラム」

これからの社会で活躍するDX人材の育成を支援するため、富士通グループは実社会で使われている技術をベースにした研修プログラムをご提供します

内容

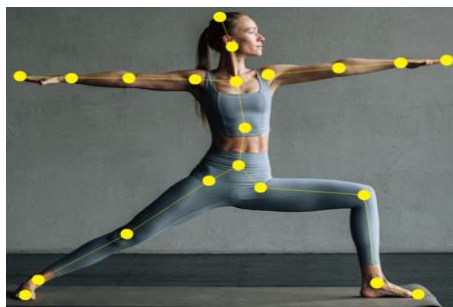
最新技術を学び、得た知識を社会的価値を創出する問題探究・課題解決のアイデアに活かすことができるプログラムを提供

活用技術

身近な動きのデジタル化する最新技術（提供動作認識AI）を活用

事例紹介

体操の国際大会で公式採用された画像AI技術の取り組みを紹介（採点系スポーツでは世界初）



プログラム概要

- 形式：集合型授業（講義形式、ワークショップ形式を交える）
- 対象：AIを活用したDXに関心のある高校生（プログラミングに抵抗がない人）
- 期間：300分（50分×6コマ）
- 想定人数：30人 ※要調整

	学習テーマ	学習目標
①	デジタル技術が生み出す段階的価値の理解	デジタル技術の適用により生み出される価値を、ビジネス用語を用い、事例を交え自らの言葉で説明できるようになる
②	HMAの活用事例と特徴の理解	・HMAの技術的特性と、国際的な活用事例およびその効果について、教材を参照しながら説明できるようになる ・HMAの活用により解決可能な課題を、対話を通して見出すことができるようになる
③	事業創出の基本ステップの理解	製品やサービスが顧客や市場に受け入れられるようにするための基本的な考え方について、説明できるようになる
④	APIを用いたサービス開発の基礎力醸成	HMAが生成するデータを、APIを通じて活用するサービスアイデアを検討することができるようになる
⑤	事業アイデアの検討1	学習者間の対話を通じ、HMAを用いたサービス事業のアイデアを考察できるようになる
⑥	事業アイデアの検討2	生み出したアイデアのアウトプット・アウトカム・インパクトを定義できるようになる

※別途演習用のパソコン等をご用意いただく必要があります

＜参考＞体操AI採点支援システム

富士通グループは2019年より国際体操連盟様と共同で国際大会向けに、採点の透明性・公平性を高めるために画像AIによる採点支援システムを提供



※本プログラムの記載内容について予告なく変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。

2025年7月版

富士通Japan株式会社

電話でのお問い合わせ

ご利用時間：9時～12時、13時～17時30分（土曜日・日曜日・祝日・当社指定の休業日を除く）

0120-835-554（お客様総合センター）